中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版A

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 後鳥羽上皇が幕府をたおそうとして敗れた争いが（　　）だ

(2) 荘園や公領ごとに置かれ、年貢を取り立てる役職を（　　）という

(3) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という

(4) 平氏がほろびた戦いは（　　）である

(5) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である

(6) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ

(7) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という

(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である

(9) 親鸞が開き、阿弥陀仏を信じる心を大切にしたのが（　　）だ

(10) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である

(11) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という

(12) 倭寇と区別するため正式な貿易船に持たせた証明書を（　　）という

(13) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という

(14) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という

(15) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という

(16) 足利義政が京都の東山に建てた建物が（　　）である

(17) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である

(18) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という

(19) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という

(20) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版B

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 承久の乱のあと朝廷を監視するため京都に置いたのが（　　）だ

(2) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ

(3) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ

(4) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である

(5) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である

(6) 道元が宋から伝えた禅宗が（　　）である

(7) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である

(8) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である

(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ

(10) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である

(11) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という

(12) 南北朝を統一した室町幕府の3代将軍は（　　）である

(13) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である

(14) 室町幕府で将軍を補佐した役職を（　　）という

(15) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ

(16) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である

(17) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という

(18) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という

(19) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という

(20) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版C

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 将軍と主従関係を結んだ武士を（　　）という

(2) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である

(3) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である

(4) 後鳥羽上皇が幕府をたおそうとして敗れた争いが（　　）だ

(5) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である

(6) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ

(7) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である

(8) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である

(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ

(10) 南北朝を統一した室町幕府の3代将軍は（　　）である

(11) 室町幕府で将軍を補佐した役職を（　　）という

(12) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ

(13) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ

(14) 一向宗の信者たちが起こした一揆を（　　）という

(15) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という

(16) 応仁の乱が始まったのは（　　）である

(17) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という

(18) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という

(19) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版D

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 荘園や公領ごとに置かれ、年貢を取り立てる役職を（　　）という

(2) 承久の乱で幕府をたおそうとしたのは（　　）である

(3) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ

(4) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である

(5) 御成敗式目が定められたのは（　　）である

(6) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である

(7) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ

(8) 法然が開き、念仏を唱えればよいと説いたのが（　　）である

(9) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である

(10) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ

(11) 南北朝を統一した室町幕府の3代将軍は（　　）である

(12) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である

(13) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ

(14) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という

(15) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という

(16) 1428年に近江から近畿地方に広がった一揆が（　　）だ

(17) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である

(18) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という

(19) 足利義政が京都の東山に建てた建物が（　　）である

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版E

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という

(2) 国ごとに置かれ、軍事や警察を行う役職を（　　）という

(3) 承久の乱のあと朝廷を監視するため京都に置いたのが（　　）だ

(4) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である

(5) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である

(6) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ

(7) 親鸞が開き、阿弥陀仏を信じる心を大切にしたのが（　　）だ

(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である

(9) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である

(10) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ

(11) 正式な船に証明書を持たせた明との貿易を（　　）という

(12) 京都の北朝と吉野の南朝が対立した時代を（　　）という

(13) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ

(14) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という

(15) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である

(16) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という

(17) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という

(18) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という

(19) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版F

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という

(2) 承久の乱が起きたのは（　　）である

(3) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である

(4) 国ごとに置かれ、軍事や警察を行う役職を（　　）という

(5) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である

(6) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ

(7) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ

(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である

(9) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である

(10) 正式な船に証明書を持たせた明との貿易を（　　）という

(11) 京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となったのは（　　）だ

(12) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ

(13) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である

(14) 一向宗の信者たちが起こした一揆を（　　）という

(15) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という

(16) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という

(17) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という

(18) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という

(19) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という

(20) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版G

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ

(2) 荘園や公領ごとに置かれ、年貢を取り立てる役職を（　　）という

(3) 承久の乱で幕府をたおそうとしたのは（　　）である

(4) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である

(5) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である

(6) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という

(7) 栄西が宋から伝えた禅宗が（　　）である

(8) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ

(9) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である

(10) 京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となったのは（　　）だ

(11) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ

(12) 南北朝を統一した室町幕府の3代将軍は（　　）である

(13) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という

(14) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という

(15) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という

(16) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という

(17) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である

(18) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という

(19) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という

(20) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版H

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 荘園や公領ごとに置かれ、年貢を取り立てる役職を（　　）という

(2) 平氏がほろびた戦いは（　　）である

(3) 承久の乱が起きたのは（　　）である

(4) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である

(5) 将軍と主従関係を結んだ武士を（　　）という

(6) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ

(7) 日蓮が開き、題目を唱えれば救われると説いたのが（　　）だ

(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である

(9) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である

(10) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という

(11) 京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となったのは（　　）だ

(12) 南北朝を統一した室町幕府の3代将軍は（　　）である

(13) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という

(14) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である

(15) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という

(16) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という

(17) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という

(18) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という

(19) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という

(20) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版I

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である

(2) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ

(3) 後鳥羽上皇が幕府をたおそうとして敗れた争いが（　　）だ

(4) 将軍と主従関係を結んだ武士を（　　）という

(5) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である

(6) 一遍が開き、踊念仏で教えを広めた仏教が（　　）である

(7) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ

(8) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である

(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ

(10) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という

(11) 室町幕府で将軍を補佐した役職を（　　）という

(12) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ

(13) 応仁の乱が始まったのは（　　）である

(14) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という

(15) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ

(16) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という

(17) 足利義満が京都の北山に建てた建物が（　　）である

(18) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という

(19) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という

(20) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版J

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である

(2) 平氏がほろびた戦いは（　　）である

(3) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ

(4) 承久の乱が起きたのは（　　）である

(5) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である

(6) 栄西が宋から伝えた禅宗が（　　）である

(7) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ

(8) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という

(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ

(10) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である

(11) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である

(12) 中国や朝鮮半島の沿岸を荒らした海賊を（　　）という

(13) 京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となったのは（　　）だ

(14) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という

(15) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ

(16) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という

(17) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という

(18) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という

(19) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という

(20) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版K

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 御成敗式目が定められたのは（　　）である

(2) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という

(3) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である

(4) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である

(5) 藤原定家らがまとめた和歌集が（　　）である

(6) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である

(7) 道元が宋から伝えた禅宗が（　　）である

(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である

(9) 南北朝が統一されたのは（　　）である

(10) 京都の北朝と吉野の南朝が対立した時代を（　　）という

(11) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という

(12) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という

(13) 室町幕府の8代将軍で、東山に銀閣を建てたのは（　　）だ

(14) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という

(15) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という

(16) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という

(17) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である

(18) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という

(19) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版L

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 御成敗式目が定められたのは（　　）である

(2) 国ごとに置かれ、軍事や警察を行う役職を（　　）という

(3) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という

(4) 平氏がほろびた戦いは（　　）である

(5) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である

(6) 日蓮が開き、題目を唱えれば救われると説いたのが（　　）だ

(7) 藤原定家らがまとめた和歌集が（　　）である

(8) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である

(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ

(10) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ

(11) 倭寇と区別するため正式な貿易船に持たせた証明書を（　　）という

(12) 京都の北朝と吉野の南朝が対立した時代を（　　）という

(13) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である

(14) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ

(15) 1428年に近江から近畿地方に広がった一揆が（　　）だ

(16) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という

(17) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という

(18) 足利義政が京都の東山に建てた建物が（　　）である

(19) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である

(20) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版M

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 承久の乱で幕府をたおそうとしたのは（　　）である

(2) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という

(3) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である

(4) 御成敗式目が定められたのは（　　）である

(5) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ

(6) 一遍が開き、踊念仏で教えを広めた仏教が（　　）である

(7) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である

(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である

(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ

(10) 中国や朝鮮半島の沿岸を荒らした海賊を（　　）という

(11) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ

(12) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という

(13) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という

(14) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ

(15) 室町幕府の8代将軍で、東山に銀閣を建てたのは（　　）だ

(16) 1428年に近江から近畿地方に広がった一揆が（　　）だ

(17) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という

(18) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という

(19) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である

(20) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版N

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 承久の乱のあと朝廷を監視するため京都に置いたのが（　　）だ

(2) 将軍と主従関係を結んだ武士を（　　）という

(3) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である

(4) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である

(5) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ

(6) 法然が開き、念仏を唱えればよいと説いたのが（　　）である

(7) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である

(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である

(9) 南北朝が統一されたのは（　　）である

(10) 室町幕府で将軍を補佐した役職を（　　）という

(11) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という

(12) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という

(13) 応仁の乱が始まったのは（　　）である

(14) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という

(15) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という

(16) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という

(17) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という

(18) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という

(19) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という

(20) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版O

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 承久の乱が起きたのは（　　）である

(2) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という

(3) 国ごとに置かれ、軍事や警察を行う役職を（　　）という

(4) 御成敗式目が定められたのは（　　）である

(5) 平氏がほろびた戦いは（　　）である

(6) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である

(7) 日蓮が開き、題目を唱えれば救われると説いたのが（　　）だ

(8) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である

(9) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ

(10) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である

(11) 中国や朝鮮半島の沿岸を荒らした海賊を（　　）という

(12) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ

(13) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である

(14) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ

(15) 室町幕府の8代将軍で、東山に銀閣を建てたのは（　　）だ

(16) 1428年に近江から近畿地方に広がった一揆が（　　）だ

(17) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という

(18) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という

(19) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という

(20) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版P

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 承久の乱のあと朝廷を監視するため京都に置いたのが（　　）だ

(2) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という

(3) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である

(4) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である

(5) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ

(6) 親鸞が開き、阿弥陀仏を信じる心を大切にしたのが（　　）だ

(7) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である

(8) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ

(9) 南北朝が統一されたのは（　　）である

(10) 京都の北朝と吉野の南朝が対立した時代を（　　）という

(11) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という

(12) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という

(13) 応仁の乱が始まったのは（　　）である

(14) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という

(15) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という

(16) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という

(17) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である

(18) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という

(19) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Q

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 鎌倉幕府で裁判の仕事を受け持った役所を（　　）という

(2) 鎌倉幕府で武士をまとめた役所を（　　）という

(3) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ

(4) 博多湾の沿岸に築かれた石の防壁を（　　）という

(5) 鴨長明が書いた随筆が（　　）である

(6) 藤原定家らがまとめた和歌集が（　　）である

(7) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という

(8) 李成桂が高麗をたおして建てた国が（　　）だ

(9) 関東を治めるために置かれた機関が（　　）である

(10) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という

(11) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という

(12) 同じ田畑で1年に米と麦などをつくる方法を（　　）という

(13) 会合衆とよばれる豪商たちが自治を行った都市は（　　）である

(14) 一向宗の信者たちが起こした一揆を（　　）という

(15) 室町幕府の8代将軍で、東山に銀閣を建てたのは（　　）だ

(16) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ

(17) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という

(18) 禅宗の影響を受けた簡素で気品のある文化が（　　）だ

(19) 石や砂で山や水の流れを表した庭園を（　　）という

(20) 足利義満が京都の北山に建てた建物が（　　）である

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Aの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 後鳥羽上皇が幕府をたおそうとして敗れた争いが（　　）だ　　承久の乱

(2) 荘園や公領ごとに置かれ、年貢を取り立てる役職を（　　）という　　地頭

(3) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という　　奉公

(4) 平氏がほろびた戦いは（　　）である　　壇ノ浦の戦い
（壇の浦の戦い でも正解）

(5) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である　　北条泰時

(6) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ　　執権

(7) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という　　元寇
（蒙古襲来 でも正解）

(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である　　徒然草

(9) 親鸞が開き、阿弥陀仏を信じる心を大切にしたのが（　　）だ　　浄土真宗
（一向宗・一向宗 でも正解）

(10) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である　　平家物語

(11) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という　　建武の新政
（建武の親政 でも正解）

(12) 倭寇と区別するため正式な貿易船に持たせた証明書を（　　）という　　勘合
（勘合符 でも正解）

(13) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という　　中継貿易

(14) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という　　土一揆
（徳政一揆 でも正解）

(15) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という　　土倉

(16) 足利義政が京都の東山に建てた建物が（　　）である　　銀閣
（慈照寺銀閣・銀閣寺 でも正解）

(17) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である　　雪舟

(18) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という　　連歌

(19) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という　　御伽草子
（お伽草子・おとぎ草子 でも正解）

(20) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という　　能
（能楽 でも正解）

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Bの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 承久の乱のあと朝廷を監視するため京都に置いたのが（　　）だ　　六波羅探題

(2) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ　　御恩

(3) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ　　執権

(4) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である　　源頼朝

(5) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である　　御成敗式目（貞永式目 でも正解）

(6) 道元が宋から伝えた禅宗が（　　）である　　曹洞宗

(7) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である　　フビライ・ハン（フビライ・クビライ でも正解）

(8) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である　　平家物語

(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ　　永仁の徳政令（徳政令 でも正解）

(10) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である　　徒然草

(11) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という　　建武の新政（建武の親政 でも正解）

(12) 南北朝を統一した室町幕府の3代将軍は（　　）である　　足利義満

(13) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である　　琉球王国

(14) 室町幕府で将軍を補佐した役職を（　　）という　　管領

(15) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ　　山城国一揆

(16) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である　　応仁の乱

(17) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という　　土倉

(18) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という　　分国法（家法 でも正解）

(19) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という　　書院造

(20) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という　　能（能楽 でも正解）

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Cの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 将軍と主従関係を結んだ武士を（　　）という	御家人
(2) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である	御成敗式目 （貞永式目 でも正解）
(3) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である	源頼朝
(4) 後鳥羽上皇が幕府をたおそうとして敗れた争いが（　　）だ	承久の乱
(5) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である	北条政子
(6) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ	運慶
(7) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である	フビライ・ハン （フビライ・クビライ でも正解）
(8) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である	平家物語
(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ	永仁の徳政令 （徳政令 でも正解）
(10) 南北朝を統一した室町幕府の3代将軍は（　　）である	足利義満
(11) 室町幕府で将軍を補佐した役職を（　　）という	管領
(12) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ	アイヌ民族 （アイヌ・アイヌの人々 でも正解）
(13) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ	後醍醐天皇
(14) 一向宗の信者たちが起こした一揆を（　　）という	一向一揆 （加賀の一向一揆 でも正解）
(15) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という	戦国大名
(16) 応仁の乱が始まったのは（　　）である	1467年
(17) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という	土一揆 （徳政一揆 でも正解）
(18) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という	座
(19) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という	書院造
(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という	御伽草子 （お伽草子・おとぎ草子 でも正解）

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Dの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 荘園や公領ごとに置かれ、年貢を取り立てる役職を（　　）という　　地頭

(2) 承久の乱で幕府をたおそうとしたのは（　　）である　　後鳥羽上皇
（後鳥羽天皇・後鳥羽院 でも正解）

(3) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ　　御恩

(4) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である　　源頼朝

(5) 御成敗式目が定められたのは（　　）である　　1232年

(6) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である　　北条政子

(7) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ　　永仁の徳政令
（徳政令 でも正解）

(8) 法然が開き、念仏を唱えればよいと説いたのが（　　）である　　浄土宗

(9) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である　　北条時宗

(10) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ　　後醍醐天皇

(11) 南北朝を統一した室町幕府の3代将軍は（　　）である　　足利義満

(12) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である　　琉球王国

(13) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ　　アイヌ民族
（アイヌ・アイヌの人々 でも正解）

(14) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という　　座

(15) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という　　分国法
（家法 でも正解）

(16) 1428年に近江から近畿地方に広がった一揆が（　　）だ　　正長の土一揆
（正長の徳政一揆 でも正解）

(17) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である　　雪舟

(18) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という　　狂言

(19) 足利義政が京都の東山に建てた建物が（　　）である　　銀閣
（慈照寺銀閣・銀閣寺 でも正解）

(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という　　御伽草子
（お伽草子・おとぎ草子 でも正解）

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Eの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という	封建制度
(2) 国ごとに置かれ、軍事や警察を行う役職を（　　）という	守護
(3) 承久の乱のあと朝廷を監視するため京都に置いたのが（　　）だ	六波羅探題
(4) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である	北条泰時
(5) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である	源義経
(6) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ	執権
(7) 親鸞が開き、阿弥陀仏を信じる心を大切にしたのが（　　）だ	浄土真宗 （一向宗・一向宗 でも正解）
(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である	徒然草
(9) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である	平家物語
(10) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ	運慶
(11) 正式な船に証明書を持たせた明との貿易を（　　）という	勘合貿易 （日明貿易 でも正解）
(12) 京都の北朝と吉野の南朝が対立した時代を（　　）という	南北朝時代
(13) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ	アイヌ民族 （アイヌ・アイヌの人々 でも正解）
(14) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という	座
(15) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である	応仁の乱
(16) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という	惣 （惣村 でも正解）
(17) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という	連歌
(18) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という	水墨画 （墨絵 でも正解）
(19) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という	狂言
(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という	御伽草子 （お伽草子・おとぎ草子 でも正解）

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Fの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という	奉公
(2) 承久の乱が起きたのは（　　）である	1221年
(3) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である	源頼朝
(4) 国ごとに置かれ、軍事や警察を行う役職を（　　）という	守護
(5) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である	御成敗式目 （貞永式目 でも正解）
(6) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ	運慶
(7) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ	永仁の徳政令 （徳政令 でも正解）
(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である	徒然草
(9) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である	平家物語
(10) 正式な船に証明書を持たせた明との貿易を（　　）という	勘合貿易 （日明貿易 でも正解）
(11) 京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となったのは（　　）だ	足利尊氏
(12) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ	山城国一揆
(13) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である	応仁の乱
(14) 一向宗の信者たちが起こした一揆を（　　）という	一向一揆 （加賀の一向一揆 でも正解）
(15) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という	土倉
(16) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という	分国法 （家法 でも正解）
(17) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という	能 （能楽 でも正解）
(18) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という	水墨画 （墨絵 でも正解）
(19) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という	御伽草子 （お伽草子・おとぎ草子 でも正解）
(20) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という	連歌

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Gの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ　　御恩

(2) 荘園や公領ごとに置かれ、年貢を取り立てる役職を（　　）という　　地頭

(3) 承久の乱で幕府をたおそうとしたのは（　　）である　　後鳥羽上皇（後鳥羽天皇・後鳥羽院 でも正解）

(4) 鎌倉に幕府を開いたのは（　　）である　　源頼朝

(5) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である　　北条政子

(6) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という　　元寇（蒙古襲来 でも正解）

(7) 栄西が宋から伝えた禅宗が（　　）である　　臨済宗

(8) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ　　運慶

(9) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である　　平家物語

(10) 京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となったのは（　　）だ　　足利尊氏

(11) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ　　アイヌ民族（アイヌ・アイヌの人々 でも正解）

(12) 南北朝を統一した室町幕府の3代将軍は（　　）である　　足利義満

(13) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という　　中継貿易

(14) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という　　土一揆（徳政一揆 でも正解）

(15) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という　　下剋上（下克上 でも正解）

(16) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という　　座

(17) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である　　応仁の乱

(18) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という　　連歌

(19) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という　　狂言

(20) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という　　書院造

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Hの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 荘園や公領ごとに置かれ、年貢を取り立てる役職を（　　）という　　地頭

(2) 平氏がほろびた戦いは（　　）である　　壇ノ浦の戦い
（壇の浦の戦い でも正解）

(3) 承久の乱が起きたのは（　　）である　　1221年

(4) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である　　御成敗式目
（貞永式目 でも正解）

(5) 将軍と主従関係を結んだ武士を（　　）という　　御家人

(6) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ　　執権

(7) 日蓮が開き、題目を唱えれば救われると説いたのが（　　）だ　　日蓮宗
（法華宗 でも正解）

(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である　　徒然草

(9) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である　　平家物語

(10) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という　　元寇
（蒙古襲来 でも正解）

(11) 京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となったのは（　　）だ　　足利尊氏

(12) 南北朝を統一した室町幕府の3代将軍は（　　）である　　足利義満

(13) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という　　土倉

(14) 1467年から京都を中心に11年続いた戦乱が（　　）である　　応仁の乱

(15) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という　　土一揆
（徳政一揆 でも正解）

(16) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という　　戦国大名

(17) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という　　連歌

(18) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という　　書院造

(19) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という　　御伽草子
（お伽草子・おとぎ草子 でも正解）

(20) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という　　能
（能楽 でも正解）

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Iの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である　　源義経

(2) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ　　執権

(3) 後鳥羽上皇が幕府をたおそうとして敗れた争いが（　　）だ　　承久の乱

(4) 将軍と主従関係を結んだ武士を（　　）という　　御家人

(5) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である　　北条泰時

(6) 一遍が開き、踊念仏で教えを広めた仏教が（　　）である　　時宗

(7) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ　　運慶

(8) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である　　フビライ・ハン（フビライ・クビライ でも正解）

(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ　　永仁の徳政令（徳政令 でも正解）

(10) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という　　建武の新政（建武の親政 でも正解）

(11) 室町幕府で将軍を補佐した役職を（　　）という　　管領

(12) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ　　アイヌ民族（アイヌ・アイヌの人々 でも正解）

(13) 応仁の乱が始まったのは（　　）である　　1467年

(14) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という　　土倉

(15) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ　　山城国一揆

(16) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という　　戦国大名

(17) 足利義満が京都の北山に建てた建物が（　　）である　　金閣（鹿苑寺金閣・金閣寺 でも正解）

(18) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という　　水墨画（墨絵 でも正解）

(19) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という　　連歌

(20) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という　　狂言

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Jの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である	北条政子
(2) 平氏がほろびた戦いは（　　）である	壇ノ浦の戦い （壇の浦の戦い でも正解）
(3) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ	御恩
(4) 承久の乱が起きたのは（　　）である	1221年
(5) 武士の慣習をもとに定められた最初の武家法が（　　）である	御成敗式目 （貞永式目 でも正解）
(6) 栄西が宋から伝えた禅宗が（　　）である	臨済宗
(7) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ	運慶
(8) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という	元寇 （蒙古襲来 でも正解）
(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ	永仁の徳政令 （徳政令 でも正解）
(10) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である	平家物語
(11) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である	琉球王国
(12) 中国や朝鮮半島の沿岸を荒らした海賊を（　　）という	倭寇
(13) 京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となったのは（　　）だ	足利尊氏
(14) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という	守護大名
(15) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ	アイヌ民族 （アイヌ・アイヌの人々 でも正解）
(16) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という	分国法 （家法 でも正解）
(17) 農民などが団結して徳政を求めて起こした行動を（　　）という	土一揆 （徳政一揆 でも正解）
(18) 品物を預かってお金を貸した金融業者を（　　）という	土倉
(19) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という	水墨画 （墨絵 でも正解）
(20) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という	狂言

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Kの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 御成敗式目が定められたのは（　　）である	1232年
(2) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という	封建制度
(3) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である	源義経
(4) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である	北条政子
(5) 藤原定家らがまとめた和歌集が（　　）である	新古今和歌集
(6) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である	北条時宗
(7) 道元が宋から伝えた禅宗が（　　）である	曹洞宗
(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である	徒然草
(9) 南北朝が統一されたのは（　　）である	1392年
(10) 京都の北朝と吉野の南朝が対立した時代を（　　）という	南北朝時代
(11) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という	守護大名
(12) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という	中継貿易
(13) 室町幕府の8代将軍で、東山に銀閣を建てたのは（　　）だ	足利義政
(14) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という	馬借
(15) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という	惣 （惣村 でも正解）
(16) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という	下剋上 （下克上 でも正解）
(17) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である	雪舟
(18) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という	能 （能楽 でも正解）
(19) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という	連歌
(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という	御伽草子 （お伽草子・おとぎ草子 でも正解）

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Lの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 御成敗式目が定められたのは（　　）である	1232年
(2) 国ごとに置かれ、軍事や警察を行う役職を（　　）という	守護
(3) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という	奉公
(4) 平氏がほろびた戦いは（　　）である	壇ノ浦の戦い （壇の浦の戦い でも正解）
(5) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である	北条政子
(6) 日蓮が開き、題目を唱えれば救われると説いたのが（　　）だ	日蓮宗 （法華宗 でも正解）
(7) 藤原定家らがまとめた和歌集が（　　）である	新古今和歌集
(8) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である	北条時宗
(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ	永仁の徳政令 （徳政令 でも正解）
(10) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ	運慶
(11) 倭寇と区別するため正式な貿易船に持たせた証明書を（　　）という	勘合 （勘合符 でも正解）
(12) 京都の北朝と吉野の南朝が対立した時代を（　　）という	南北朝時代
(13) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である	琉球王国
(14) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ	アイヌ民族 （アイヌ・アイヌの人々 でも正解）
(15) 1428年に近江から近畿地方に広がった一揆が（　　）だ	正長の土一揆 （正長の徳政一揆 でも正解）
(16) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という	馬借
(17) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という	下剋上 （下克上 でも正解）
(18) 足利義政が京都の東山に建てた建物が（　　）である	銀閣 （慈照寺銀閣・銀閣寺 でも正解）
(19) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である	雪舟
(20) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という	狂言

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Mの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 承久の乱で幕府をたおそうとしたのは（　　）である　　後鳥羽上皇（後鳥羽天皇・後鳥羽院 でも正解）

(2) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という　　封建制度

(3) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である　　源義経

(4) 御成敗式目が定められたのは（　　）である　　1232年

(5) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ　　執権

(6) 一遍が開き、踊念仏で教えを広めた仏教が（　　）である　　時宗

(7) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である　　北条時宗

(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である　　徒然草

(9) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ　　永仁の徳政令（徳政令 でも正解）

(10) 中国や朝鮮半島の沿岸を荒らした海賊を（　　）という　　倭寇

(11) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ　　後醍醐天皇

(12) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という　　守護大名

(13) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という　　中継貿易

(14) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ　　アイヌ民族（アイヌ・アイヌの人々 でも正解）

(15) 室町幕府の8代将軍で、東山に銀閣を建てたのは（　　）だ　　足利義政

(16) 1428年に近江から近畿地方に広がった一揆が（　　）だ　　正長の土一揆（正長の徳政一揆 でも正解）

(17) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という　　馬借

(18) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という　　戦国大名

(19) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である　　雪舟

(20) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という　　能（能楽 でも正解）

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Nの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 承久の乱のあと朝廷を監視するため京都に置いたのが（　　）だ	六波羅探題
(2) 将軍と主従関係を結んだ武士を（　　）という	御家人
(3) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である	北条泰時
(4) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である	源義経
(5) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ	執権
(6) 法然が開き、念仏を唱えればよいと説いたのが（　　）である	浄土宗
(7) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である	フビライ・ハン （フビライ・クビライ でも正解）
(8) 兼好法師が書いた随筆が（　　）である	徒然草
(9) 南北朝が統一されたのは（　　）である	1392年
(10) 室町幕府で将軍を補佐した役職を（　　）という	管領
(11) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という	建武の新政 （建武の親政 でも正解）
(12) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という	中継貿易
(13) 応仁の乱が始まったのは（　　）である	1467年
(14) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という	惣 （惣村 でも正解）
(15) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という	下剋上 （下克上 でも正解）
(16) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という	馬借
(17) 床の間やちがい棚を設けた和室のもとになる建築を（　　）という	書院造
(18) 能の合間に演じられた喜劇を（　　）という	狂言
(19) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という	御伽草子 （お伽草子・おとぎ草子 でも正解）
(20) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という	連歌

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Oの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 承久の乱が起きたのは（　　）である	1221年
(2) 御家人が命がけで戦い、将軍に忠誠をつくすことを（　　）という	奉公
(3) 国ごとに置かれ、軍事や警察を行う役職を（　　）という	守護
(4) 御成敗式目が定められたのは（　　）である	1232年
(5) 平氏がほろびた戦いは（　　）である	壇ノ浦の戦い （壇の浦の戦い でも正解）
(6) 頼朝の妻で「尼将軍」とよばれたのは（　　）である	北条政子
(7) 日蓮が開き、題目を唱えれば救われると説いたのが（　　）だ	日蓮宗 （法華宗 でも正解）
(8) 元寇のときに幕府を指導したのは（　　）である	北条時宗
(9) 快慶らと東大寺南大門の金剛力士像をつくったのは（　　）だ	運慶
(10) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物が（　　）である	平家物語
(11) 中国や朝鮮半島の沿岸を荒らした海賊を（　　）という	倭寇
(12) 鎌倉幕府をたおし、天皇中心の政治を始めたのは（　　）だ	後醍醐天皇
(13) 尚氏が沖縄島を統一し、首里を都に建てた国が（　　）である	琉球王国
(14) 蝦夷地に住み、狩りや漁、交易を行った人々が（　　）だ	アイヌ民族 （アイヌ・アイヌの人々 でも正解）
(15) 室町幕府の8代将軍で、東山に銀閣を建てたのは（　　）だ	足利義政
(16) 1428年に近江から近畿地方に広がった一揆が（　　）だ	正長の土一揆 （正長の徳政一揆 でも正解）
(17) 商人や手工業者がつくった同業者の組合を（　　）という	座
(18) 身分の下の者が実力で上の者をたおすことを（　　）という	下剋上 （下克上 でも正解）
(19) 墨の濃いうすいだけで自然などを表した絵を（　　）という	水墨画 （墨絵 でも正解）
(20) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という	能 （能楽 でも正解）

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Pの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 承久の乱のあと朝廷を監視するため京都に置いたのが（　　）だ	六波羅探題
(2) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という	封建制度
(3) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である	北条泰時
(4) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である	源義経
(5) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ	執権
(6) 親鸞が開き、阿弥陀仏を信じる心を大切にしたのが（　　）だ	浄土真宗 （一向宗・一向宗 でも正解）
(7) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である	フビライ・ハン （フビライ・クビライ でも正解）
(8) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ	永仁の徳政令 （徳政令 でも正解）
(9) 南北朝が統一されたのは（　　）である	1392年
(10) 京都の北朝と吉野の南朝が対立した時代を（　　）という	南北朝時代
(11) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という	守護大名
(12) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という	中継貿易
(13) 応仁の乱が始まったのは（　　）である	1467年
(14) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という	惣 （惣村 でも正解）
(15) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という	分国法 （家法 でも正解）
(16) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という	馬借
(17) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である	雪舟
(18) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という	能 （能楽 でも正解）
(19) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という	連歌
(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という	御伽草子 （お伽草子・おとぎ草子 でも正解）

中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Qの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 鎌倉幕府で裁判の仕事を受け持った役所を（　　）という　　問注所

(2) 鎌倉幕府で武士をまとめた役所を（　　）という　　侍所

(3) 将軍が御家人の領地を守り、新しい領地を与えるのが（　　）だ　　御恩

(4) 博多湾の沿岸に築かれた石の防壁を（　　）という　　防塁
（石塁・元寇防塁 でも正解）

(5) 鴨長明が書いた随筆が（　　）である　　方丈記

(6) 藤原定家らがまとめた和歌集が（　　）である　　新古今和歌集

(7) 元の軍が2度にわたって日本に攻めてきたことを（　　）という　　元寇
（蒙古襲来 でも正解）

(8) 李成桂が高麗をたおして建てた国が（　　）だ　　朝鮮国
（李氏朝鮮・朝鮮 でも正解）

(9) 関東を治めるために置かれた機関が（　　）である　　鎌倉府

(10) 鎌倉幕府のあと後醍醐天皇が始めた政治を（　　）という　　建武の新政
（建武の親政 でも正解）

(11) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という　　守護大名

(12) 同じ田畑で1年に米と麦などをつくる方法を（　　）という　　二毛作

(13) 会合衆とよばれる豪商たちが自治を行った都市は（　　）である　　堺

(14) 一向宗の信者たちが起こした一揆を（　　）という　　一向一揆
（加賀の一向一揆 でも正解）

(15) 室町幕府の8代将軍で、東山に銀閣を建てたのは（　　）だ　　足利義政

(16) 山城国の武士と農民が大名の軍を追い出した一揆が（　　）だ　　山城国一揆

(17) 戦国時代に実力で領国を支配した大名を（　　）という　　戦国大名

(18) 禅宗の影響を受けた簡素で気品のある文化が（　　）だ　　東山文化

(19) 石や砂で山や水の流れを表した庭園を（　　）という　　枯山水

(20) 足利義満が京都の北山に建てた建物が（　　）である　　金閣
（鹿苑寺金閣・金閣寺 でも正解）